

株主の皆様とNTTを結ぶ

NTT is...

2009

夏

この絵には漢字1文字が隠れています。
答えは14ページにあります。

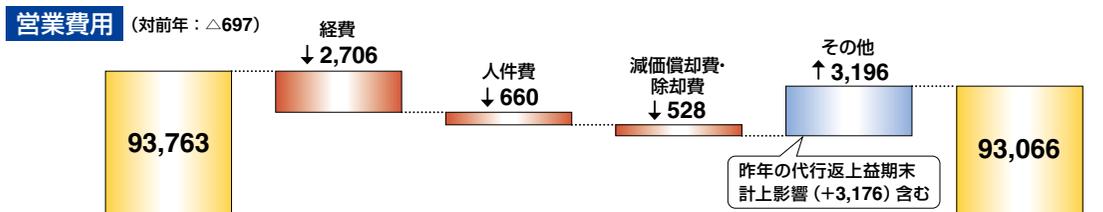
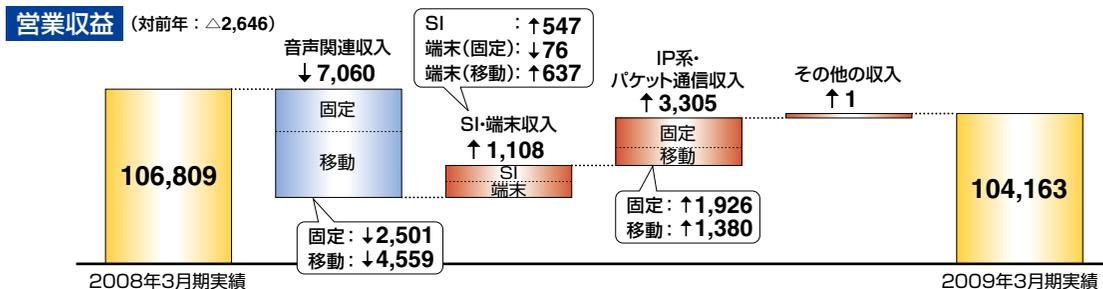


2009年3月期連結決算の状況

- 営業収益は前年同期と比べて2,646億円(2.5%)減少の10兆4,163億円
「フレッツ光」などの販売によるIP関連収入およびシステムインテグレーション収入が増加したものの、固定電話加入数の減少や携帯電話の割引サービス拡大により音声関連収入が減少したため
- 営業費用は前年同期と比べて697億円(0.7%)減少の9兆3,066億円
前期に実施した厚生年金基金代行返上に伴う営業費用の減少などの特殊要素が今期にはなくなったものの、携帯端末販売数の減少などに伴う収益連動経費の減少のため
- 営業利益は前年同期と比べて1,949億円(14.9%)減少の1兆1,098億円
前期に実施した厚生年金基金代行返上に伴う営業費用の減少や減価償却に係わる見直しなどの特殊要素(約1,600億円)を除くと、実質350億円の減益

2009年3月期連結決算の内訳(科目別)

(単位:億円)



連結および主要な会社別損益状況

NTT連結とは、NTTグループ連結子会社479社、持分法適用会社84社の連結決算を表しています。ここでは、主な5社として、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NTTドコモを掲載しております。

(単位:億円)

区分	NTT連結 ※1 ※3	NTT東日本 ※1	NTT西日本 ※1	NTT コミュニケーションズ ※1	NTTデータ ※1	NTTドコモ ※1
営業収益	104,163	19,529	18,243	11,271	11,390	44,480
(対前年増減額)	(△2,646)	(△497)	(△769)	(△273)	(646)	(△2,638)
(対前年増減率)	(△2.5%)	(△2.5%)	(△4.0%)	(△2.4%)	(6.0%)	(△5.6%)
営業費用	93,066	19,162	18,165	10,263	10,405	36,170
(対前年増減額)	(△697)	(△414)	(△707)	(△234)	(620)	(△2,865)
(対前年増減率)	(△0.7%)	(△2.1%)	(△3.7%)	(△2.2%)	(6.3%)	(△7.3%)
営業利益	11,098	366	77	1,008	985	8,310
(対前年増減額)	(△1,949)	(△82)	(△61)	(△38)	(26)	(226)
(対前年増減率)	(△14.9%)	(△18.4%)	(△44.2%)	(△3.7%)	(2.7%)	(2.8%)
税引前利益	11,052	※2 653	※2 195	※2 1,135	※2 955	7,805
(対前年増減額)	(△2,171)	(△20)	(△53)	(15)	(12)	(△202)
(対前年増減率)	(△16.4%)	(△3.1%)	(△21.6%)	(1.4%)	(1.3%)	(△2.5%)
当期純利益	5,387	775	154	890	483	4,719
(対前年増減額)	(△965)	(△193)	(531)	(262)	(179)	(△193)
(対前年増減率)	(△15.2%)	(△19.9%)	(-)	(41.9%)	(58.8%)	(△3.9%)

※1 当社およびNTTドコモは米国基準(連結)、NTT東日本、NTT西日本およびNTTコミュニケーションズは国内基準(単独)、NTTデータは国内基準(連結)に準拠して作成しております。

※2 NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズおよびNTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

※3 NTT連結は、上記5社を含む連結子会社および持分法適用会社を連結決算した数値であり、連結子会社間取引に関する収益または費用の相殺消去などを行っているため、単純に合計した数値とは一致しません。

2010年3月期業績予想

- 2010年3月期は、前期からの厳しい経済情勢が続くと予想しており、営業収益は1兆3,000億円(前期比1.1%減)、営業利益は1兆1,100億円(前期比0.0%)、当期純利益は4,600億円(前期比14.6%減)と予想しております。
- 営業収益では、NTTドコモの新割引サービスの影響が一巡したことなどにより、減収幅は縮小するものの、音声関連収入を中心に1,000億円を超える減収と見込んでおります。
- 営業費用では、グループ各社での徹底したコスト削減に取り組み、1,000億円を超える削減を計画しております。
- 以上のことから、営業利益は前期並みを確保したいと考えております。

(単位：億円)

	2009年3月期 実績	2010年3月期 業績予想	増減額	増減率
営業収益	104,163	103,000	△1,163	△1.1%
営業費用	93,066	91,900	△1,166	△1.3%
営業利益	11,098	11,100	2	0.0%
当期純利益	5,387	※ 4,600	△787	△14.6%

※ 2010年3月期業績予想の当期純利益は、非支配持分を除いた当社株主に帰属する当期純利益を記載しております。

連結および主要な会社別業績予想

(単位：億円)

区分	NTT連結 ※1 NTT	NTT東日本 ※1 NTT東日本	NTT西日本 ※1 NTT西日本	NTT コミュニケーションズ ※1 NTT Communications	NTTデータ ※1 NTTデータ	NTTドコモ ※1 docomo
営業収益	103,000	19,250	17,790	10,820	11,700	43,820
(対前年増減額)	(△1,163)	(△279)	(△453)	(△451)	(309)	(△660)
(対前年増減率)	(△1.1%)	(△1.4%)	(△2.5%)	(△4.0%)	(2.7%)	(△1.5%)
営業費用	91,900	18,850	17,740	9,920	10,800	35,520
(対前年増減額)	(△1,166)	(△312)	(△425)	(△343)	(394)	(△650)
(対前年増減率)	(△1.3%)	(△1.6%)	(△2.3%)	(△3.3%)	(3.8%)	(△1.8%)
営業利益	11,100	400	50	900	900	8,300
(対前年増減額)	(2)	(33)	(△27)	(△108)	(△85)	(△10)
(対前年増減率)	(0.0%)	(9.0%)	(△35.6%)	(△10.8%)	(△8.7%)	(△0.1%)
税引前利益	10,800	※2 600	※2 100	※2 950	※2 860	8,320
(対前年増減額)	(△252)	(△53)	(△95)	(△185)	(△95)	(515)
(対前年増減率)	(△2.3%)	(△8.2%)	(△48.8%)	(△16.4%)	(△10.0%)	(6.6%)
当期純利益	※3 4,600	390	70	560	470	※3 4,930
(対前年増減額)	(△787)	(△385)	(△84)	(△330)	(△13)	(211)
(対前年増減率)	(△14.6%)	(△49.7%)	(△54.7%)	(△37.1%)	(△2.8%)	(4.5%)

※1 当社およびNTTドコモは米国基準(連結)、NTT東日本、NTT西日本およびNTTコミュニケーションズは国内基準(単独)、NTTデータは国内基準(連結)に準拠して作成しております。

※2 NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズおよびNTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

※3 NTT連結およびNTTドコモの当期純利益は、当社株主に帰属する当期純利益を記載しております。

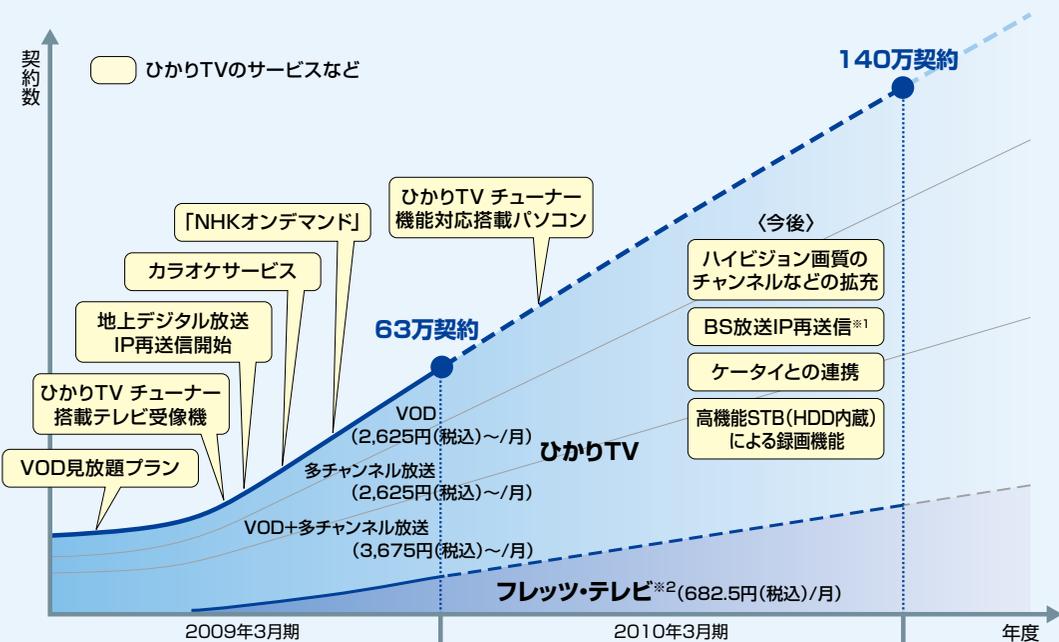
本誌に記載されている予想数値および将来の見通しは、不確実性・不確実性を含んでおり、実際の業績などにつきましては、今後の経済や情報通信業界内外の動向、新たな技術・サービスや料金水準などにより変動することがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。

NTTグループ 映像サービスのご紹介

NTTグループは、中期経営戦略の次のステップとして2008年5月に公表した、新たな中期経営戦略「サービス創造グループを目指して」に基づき、ブロードバンド・ユビキタスサービスの拡大に取り組んでいます。ここでは、その一例として、光ブロードバンドを利用した映像サービスをご紹介します。

既にNTTぷららが提供している映像配信サービス「ひかりTV」およびNTT東日本・NTT西日本の通信サービスを利用した「フレッツ・テレビ」を合わせた光の映像サービス全体の契約数は2009年3月末で63万契約に達しました。また、今年度末には140万契約を目指してまいります。

光・NGNの展開～光の映像サービス市場の開拓



※1 技術方式決定後、放送事業者様から再送信同意を取得した上での提供となります。

※2 「フレッツ・テレビ」は、NTT東日本・NTT西日本のフレッツ光を利用して、㈱オプティキャストの提供する放送サービスにより、地上放送(アナログ/デジタル)とBS放送(アナログ/デジタル)が受信できるサービスです。

「光」でテレビがこんなに楽しめる!

「フレッツ光[※]」と映像サービスを組み合わせて、自宅で地デジやビデオ、専門チャンネルを自由に楽しむことができます。

※「フレッツ光」はNTT東日本・NTT西日本が提供する「フレッツ 光ネクスト」、「Bフレッツ」もしくは「フレッツ光プレミアム」の光ブロードバンドサービス(アクセス回線)の総称です。

各映像サービスの特徴

<p>ひかりTV^{※1 ※2 ※3}</p> <p>ビデオ (約5,000本見放題)</p> <p>専門ch^{※2} (70ch以上)</p> <p>カラオケ (13,000曲以上、オプション)</p>	<p>充実したビデオサービスや専門チャンネル、カラオケなどが魅力の映像サービスです。</p>
<p>NHK オンデマンド</p> <p>ビデオ (300番組(タイトル)以上)</p>	<p>「ひかりTV」のオプションサービスとして、NHKの番組が楽しめる有料VODサービスです。</p>
<p>フレッツ・テレビ^{※1 ※2 ※4}</p> <p>地上放送 (アナログ/デジタル)</p> <p>BS放送 (アナログ/デジタル)</p> <p>FM放送</p>	<p>ご自宅の周辺環境に左右されず、光ファイバーを利用して、安定したテレビ放送をお楽しみいただけます。</p>
<p>フレッツ・テレビ ⊕ スカパー!光^{※1 ※2}</p> <p>フレッツ・テレビ ⊕ スカパー!e2^{※5}</p> <p>地上放送 (アナログ/デジタル)</p> <p>BS放送 (アナログ/デジタル)</p> <p>専門ch (約280ch)</p>	<p>「フレッツ・テレビ」のオプションサービスとして、「スカパー!光」の専門チャンネルが楽しめます。</p>

2009年4月現在

※1 ご視聴には、各放送サービスに対応するチューナーが必要です。

※2 「ひかりTV」「フレッツ・テレビ」のご利用には別途初期費用(契約料・工事費など)がかかります。また、「フレッツ光」のご契約が必要となります。(別途契約料・工事費・月額使用料がかかります。)

※NTT西日本エリアにお住いで「Bフレッツ」をご利用の方は、別途フレッツ・v6アプリの契約が必要です。

※3 「ひかりTV」のご利用には、㈱NTTぷらら、㈱アイキャストが提供する放送サービスのご契約が必要です。

※4 「フレッツ・テレビ」の提供エリアは、NTT東日本エリアでは東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、福島県の各一部地域となり、NTT西日本エリアでは大阪府、兵庫県、愛知県、徳島県の各一部地域となります。(2009年5月現在)

※5 「フレッツ・テレビ」、「スカパー!光」、「スカパー!e2」のご利用には、「フレッツ光」のご契約に加え、㈱オプティキャストなどの放送事業者が提供する放送サービスのご契約が必要です。

NTTグループは、世界的な課題となっている地球環境問題に対して一体的に取り組んでいます。事業活動にともなって発生する環境負荷をできるだけ低減していくために、省エネに優れた設備の導入や自然エネルギーを積極的に利用しています。また、ヒトやモノを情報通信技術「ICT*」でつなげば、業務の効率化や無駄な移動の削減、渋滞緩和を実現し、社会全体のCO₂を減らすことができます。NTTグループは、「つなぐ。それは、ECO」というスローガンのもと、地球にやさしい活動を広げています。今回は、NTTグループのテレビCMなどに出演いただいているイチロー選手と三浦社長の対談を通じて、NTTグループの地球環境問題に対する考え方をご紹介します。

*Information Communication Technology

- 三浦：今日は、環境のことについて、お話をしたいな、と。ご興味ってありますか？
- イチロー：いやあ、興味あるもないも、これは人類全体にとっての大事な課題ですから！環境って言えば、温暖化ですが、社長は、何か実感ありますか？
- 三浦：あります、あります。僕は登山が趣味なのですが、夏の雪渓の量が減ってきているんです。
- イチロー：なるほど。山にまで。その、こんな時代にあって、社長率いるNTTグループは、環境に対してどんな取り組みを？
- 三浦：二本柱でしてね。
- イチロー：二本？どんなことですか？
- 三浦：まず一つが、私たちグループ自身の環境負荷を低減すること。例えば、私たちのネットワークでは省エネに優れた設備を導入しています。もう一つが、人やモノ同士をもっとつなぐことで、移動を少なくしたり、効率化を図ったりして、世の中全体のCO₂排出を減らすECOです。
- イチロー：あっ、「つなぐ。それは、ECO」だ！
- 三浦：ありがとうございます。よくご存じで！
- イチロー：ご存じどころか、僕、CMに出ていますからね（笑）。例えばブロードバンドなんかを使って、テレビ会議をすれば、人が移動しなくて済む分、CO₂を排出しないってことですよ。



- 三浦：そう、ネットショッピングや、テレワーク（在宅勤務のことですね）なんかも、同じように、ECOになるんです。
- イチロー：うんうん。
- 三浦：「つなぐ。それは、ECO」が広がっていけるように、グループ丸となって努力していきたいと思っています。
- イチロー：社長が、そこまでグループをあげて取り組まれるのは、どうしてなんですか？
- 三浦：それが、今、私たちが地球のためにできることから。
- イチロー：大企業ですからね。その分、資源やエネルギーって、使いますもんね。
- 三浦：そうなんです。だからこそ、私たちグループ自身の環境負荷低減にも力を入れてるんです。
- イチロー：あ、さっきのもう一本の柱の方ですね。
- 三浦：はい。グリーンNTTという計画のもと、グループ各社のビルにソーラーシステムを導入したり、自然エネルギーの利用を積極的に進めようとか。他にも、回収した古い電話帳から新しい電話帳を作ったり、電柱やケーブルのリユース・リサイクルなども積極的に行っています。
- イチロー：社長、頑張り！NTTグループ頑張り！と、本気で思います。
- 三浦：そう言っただけだと、心強いです。
- イチロー：もちろん、僕も「つなぐ。それは、ECO」の先頭に立ちますから。



➡ NTTグループの考えるエコ
<http://www.ntt.co.jp/eco/>

日常生活に密着し、暮らしの「安心・身近・簡単」にしっかりお応えする、NTTグループのサービスをご紹介します。

安心 暮らしと「安心」を、つなげるために。

お子様が携帯電話を安心・安全に利用いただくために、「考えよう!我が家のケータイルール」開設

NTTドコモは2009年1月、ご家庭で「携帯電話の利用ルールを作る」際の手助けとなるサイト「考えよう!我が家のケータイルール」をホームページ内に開設しました。このサイトは、お子様に携帯電話を持たせている、または今後、携帯電話を持たせることを検討している保護者の方を対象に、ご家庭でのルール作りの重要性や、ルール作りをする上で重要なポイントなどを紹介しています。

特に「我が家のルールを作ろう」コーナーでは、利用ルール作りのポイントになる解説を読みながら質問に答えていくと、そのご家庭に合ったルールを自動的に編集・表示し、そのまま印刷ができるといった便利な機能を備えています。

今後もNTTドコモはお子様により安心・安全に携帯電話をご利用いただけるよう努めていきます。

「考えよう!我が家のケータイルール」の主な内容

- ◇子どもに携帯電話を持たせる前に知っておきたいこと
- ◇子どもの携帯電話利用ルール作りのポイント
- ◇学齢別の携帯電話利用ルール作りのヒント
- ◇我が家のルールを作ろう

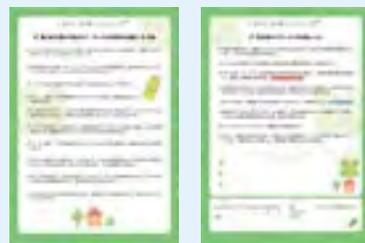
「我が家のルールを作ろう」

質問に答えながら簡単に「我が家ならではの」携帯電話利用のルールを作成、印刷できます。



ルールを作る上でのポイントや、活用したい機能が紹介されています。

推奨ルール結果画面



ケータイを持つ上で知っておきたい10ヶ条も、あわせて印刷されます。

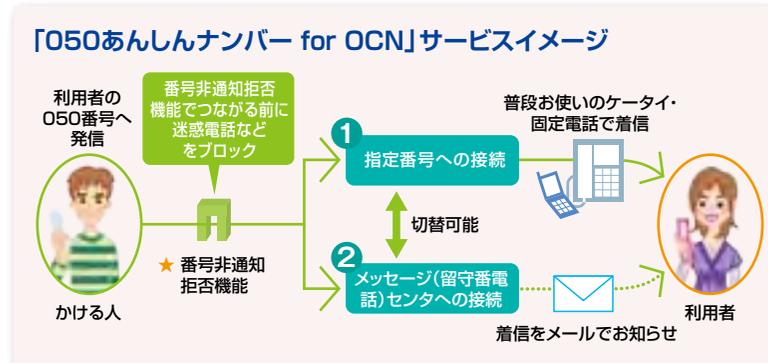
※画面はイメージです。

Webサイト「考えよう!我が家のケータイルール」は [ケータイルール](#) [検索](#)

身近 「身近」で快適、頼りになる存在へ。

より多くの人に安心・便利な「もうひとつのナンバー」「050あんしんナンバー for OCN」開始

NTTコミュニケーションズの「050あんしんナンバー」は、通常使用しているひかり電話や固定電話、携帯電話、PHSなどの番号に代わって「050番号」が着信し、通常使用している電話へつないだり、留守番電話センタでメッセージをお預かりする着信用サービスです。Webで簡単に設定するだけで追加の専用機器も不要です。プライベートの電話番号を知らせたくない、引越しによる電話番号の変更手続きのわずらわしさから解消されたいなど様々なニーズに対応できるほか、迷惑電話もブロックできる番号非通知拒否機能も付いています。



「フレッツ光」をもっと便利に、快適に利用できる「光LINK(リンク)」シリーズを提供開始

NTT東日本およびNTT西日本は2009年2月、「フレッツ光」の新たな利用シーンやメリットをお客様にわかりやすく提案するために、「フレッツ光」につながる情報機器を「光LINK」としてシリーズ化しました。写真付きメールを受信し、写真とメッセージ(テキスト)をスライドショーで表示できる「光フォトフレーム」(発売中)やご家庭のテレビを利用してインターネットをはじめとしたブロードバンドライフをお楽しみいただける、「簡単・便利」なリビングPC「光BOX(仮称)」(2009年6月末販売開始予定)など今後「光LINK」シリーズの商品ラインナップを充実し、順次拡大していきます。

「光フォトフレーム」の主な特長

- ①写真メール受信機能…パソコンや携帯電話から送信した写真付きメールを本商品で受信し、写真とメッセージ(テキスト)を一に表示。
- ②オートスライドショー機能…写真を次々に切り替えて自動再生。
- ③マルチ再生機能…スライドショーに合わせて好きな音楽を流したり、ビデオカメラで撮った映像を再生。
- ④遠隔操作設定機能…パソコンから専用サイトに入り、遠隔から「光フォトフレーム」の設定をすることができますので、機械を扱うことが苦手な方でも、お知り合いなどに設定を依頼することができます。



光フォトフレーム(SPF-86V)

簡単 誰にでも「簡単」で、快適なサービスを。

心と体の健康づくりを応援する
会員制ポータルサイト「クリエイティブヘルス 三健人」の提供

NTTデータでは、楽しみながら健康管理ができる会員制ポータル「クリエイティブヘルス 三健人」(月額315円(税込))を提供しています。これは「自分の体の声を聞き、健康な体づくりをする」という「クリエイティブヘルス」の考えに基づき、インターネットと電子メールを活用して生活習慣の改善や健康増進、疾病予防などに役立つ様々なプログラムや個別アドバイスを提供するものです。運動習慣を身につける「ウォーキングプログラム」やウォーキングプログラムと連動した「ポイントサービス」、会員一人ひとりに対応したアドバイスで生活習慣改善のサポートを行う「生活習慣改善プログラム」など、楽しみながら無理なく健康になるための様々なメニューをご利用いただけます。



「クリエイティブヘルス 三健人」
<http://www.creativehealth.jp/>

健康になってポイントも貯まる「ウォーキングプログラム」

指定のIT歩数計をもって歩いていただき、ご家庭や職場でパソコンにつないで歩数データをインターネットのホームページに登録すると、日、週、月別に歩数を管理できます。さらに1,000歩を1ヘルス(h/s)というポイントに換算し、貯まったポイントをギフト券などと交換できます。楽しく、健康になって、さらにポイントで利用者に還元されるまったく新しいヘルスケアサービスとして、2006年5月開始以降、約5万人以上の方にご利用をいただいています。今後もポイントサービスの対象となる健康増進プログラムを拡大していく予定です。

自分の歩数が一目でわかる歩数グラフ



※実際の画面とは異なる場合があります。

配当のご案内

2009年3月期の年間配当金につきましては前期から20円増配し、1株当たり110円とさせていただきます。2010年3月期の年間配当金につきましては10円増配の120円とする予定です。

1株当たり配当額/配当性向



*1 営業利益の特殊要素影響額1,599億円に1-実効税率を乗じたものを純利益の影響額と仮定して算出してあります。
*2 2009年1月に普通株式1株を100株に分割する株式分割を行ったため、その影響を遡って補正しております。
*特殊要素は、厚生年金基金代行返上益など

参考：株式分割に伴う配当金の表記について

当社は、2009年1月4日付で、1株を100株に分割する株式の分割を行っており、当該株式の分割が期首に行われたものと仮定して算出した場合の中間配当を含めた第24期の年間配当金は1株につき110円となります。

(例)株式分割前に1株(分割後100株)をご所有の場合

<p>●第24期中間配当 基準日：2008年9月30日 基準日が、株式分割前なので</p> <p>1株 (分割前) = 5,500円</p> <p>※仮に株式分割後の1株当たりで計算すると</p> <p>1株 (分割前) = 100株 (分割後) = 5,500円 (1株当たり55円)</p>	<p>●第24期末配当 基準日：2009年3月31日 基準日が、株式分割後なので</p> <p>1株 (分割前) = 100株 (分割後) = 5,500円 (1株当たり55円)</p>
---	--

第24期(2009年3月期)の年間配当金は、分割後の1株当たりでは、中間配当金(55円)+期末配当金(55円)=110円となり、分割後株式100株を所有している場合、年間の配当金は、110円/株×100株=11,000円となります。

表紙の絵には「帆」という文字が隠れています。夏は、海に浮かぶ船の帆があざやかに輝く季節です。





株式インフォメーション

◎住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

【証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様】

お取引先の証券会社へお問い合わせください。

【特別口座に当社株式が記録されている株主様】

当社特別口座管理機関の中央三井信託銀行へお問い合わせください。

◎住所・氏名の表記について

住所および氏名などの文字のうち、証券保管振替機構が指定していない漢字などが含まれている場合には、その全部または一部を証券保管振替機構が指定した文字に置き換えさせていただくことができますのでご了承ください。

◎未払配当金の支払について

まだ受け取られていない配当金がある場合は、お早めに中央三井信託銀行にお問い合わせください。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせは

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

NTT株主様専用電話： 0120-58-4400

代表電話： 0120-78-2031

株主・投資家の皆様向けホームページ <http://www.ntt.co.jp/ir/>

NTT東日本・西日本

「電話サービス」に関するお申し込み・お問い合わせは

(局番なし) **116** (NTT東日本:午前9時～午後9時
NTT西日本:午前9時～午後5時
年中無休 ※年末年始を除く)

「ブロードバンドサービス」に関する
お申し込み・お問い合わせは

0120-116116

(午前9時～午後9時 年中無休 ※年末年始を除く)

NTTコミュニケーションズ

電話・インターネットのサービスに関する
お申し込み・お問い合わせは

コール・コール
0120-506506

(午前9時～午後9時 年中無休 ※年末年始を除く)

NTTドコモ

総合お問い合わせ先／各種ご注文受付
(ドコモ インフォメーションセンター)
ドコモの携帯電話からの場合

(局番なし) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000 (午前9時～午後8時 年中無休)

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

日本電信電話株式会社

